

1. 科目名 (単位数)	社会福祉 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2102 JNGM1101
2. 授業担当教員	中嶋 一郎		
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	春期・秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>この科目は、保育士資格を取得するための必修科目であり、保育士実践に不可欠の知識・技能を学習するものである。</p> <p>具体的内容としては、社会福祉の現代的意義について、歴史、対象、制度、担い手の視点からとらえる。また、社会福祉に関する理論と制度の体系を学び、相談活動の方法や技術、保育における具体的な展開方法を学ぶことを目的とする。さらに、身近な事例を紹介しながら授業を進めつつ、社会福祉の現代的意義を平易に解説し、利用者の生活課題を理解する。これらを通じて保育士として必要な社会福祉に係る知識・技術を身につける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代における社会福祉の意義と歴史の変遷から、福祉の思想と考え方を理解する。</li> <li>2. 現代の社会福祉における制度や実施体系を理解する。</li> <li>3. 社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかる仕組みを理解する。</li> <li>4. 利用者の生活ニーズが表出する社会的、個別的な背景を理解し、支援の際に活かせるようにする。</li> <li>5. 利用者の生活ニーズに対する具体的支援方法を理解する。</li> </ol>		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>15回の授業内で、社会福祉への問題意識を高め、主体的な学習ができるように予習を兼ねたアサシメントと、問題及び考察を表現するためのレポート課題を行う。</p> <p>第1回の授業開始までに「社会福祉」という言葉と「福祉」という言葉の意味を調べて、その違いをまとめたレポートを作成しておくことを強く望む。(字数は任意)</p>		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】なし		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>□5つの学習目標を達成することができたか</p> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 課題レポート 30%</li> <li>2. 平常点 (ディスカッションや授業への積極的参加度、提出物など) 40%</li> <li>3. 期末試験 30%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>携帯電話等の使用や私語等を慎むことは、守るべきマナーです。(減点の対象)</p> <p>授業等で不満があれば個人的に受け付けておりますので、いつでもご相談ください。</p> <p>自分の意見を持つことは、共に学ぶ学友との相互理解を深めるための道具です。自分の意見はワークシートにまとめ、それを元に他人と議論を交わしてください。</p> <p>(以下、加点の対象)</p> <p>他の学生を尊重し、その意見をしっかりと受け止めてください。</p> <p>発表の際には、他の学生に伝わる大きさの声で行ってください。</p> <p>わからないことがあれば、授業内、外で積極的に質問をしてください。</p>		
13. オフィスアワー	別途連絡する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 現代社会における社会福祉の意義① 社会福祉の概念と理念	事前学習	「社会福祉」という言葉と「福祉」という言葉の意味を調べて、その違いをまとめておく。
		事後学習	授業で学んだ内容を踏まえ、自身が理解した社会福祉という言葉の意味を再確認する。
第2回	保育における社会福祉① 日本の人口動向 生活と社会福祉	事前学習	社会福祉領域での子育てに関する問題をまとめてくる。
		事後学習	子育てに関する問題の原因を再確認した後、自分自身で説明できるようにする。
第3回	保育における社会福祉② 保育と社会福祉 社会福祉を学ぶ姿勢	事前学習	社会福祉領域での保育とはどのような目的で行われるものなのかをまとめてくる。
		事後学習	自分自身の目指す保育士像にどのような考え方が必要なかを説明できるようにする。
第4回	現代社会における社会福祉の意義② 社会福祉の歴史の変遷	事前学習	「措置」と「契約」というサービス形態についてまとめておく。
		事後学習	現在のサービスの在り方と過去の在り方の違いを理解した上で自分の目指す保育士像にどのようなサービスの在り方が必要なかを説明できるようにする。

第5回	社会福祉と児童家庭福祉① 社会福祉の分野としての児童家庭福祉	事前学習	「家族」と「家庭」の意味の違いをまとめておく。
		事後学習	児童家庭福祉という言葉が内包する考え方を理解する。また、その考え方を保育実践にどのように活かしていくかを説明出来るようにする。
第6回	社会福祉と児童家庭福祉② 児童の人権・権利擁護と社会福祉	事前学習	児童に関する様々な権利をまとめてくる。
		事後学習	自分の目指す保育と関連づけてそれらの権利の重要性を説明できるようにする。
第7回	社会福祉と児童家庭福祉③ 家庭支援・子育て支援と社会福祉	事前学習	具体的な子育て支援に関するニュースを調べてくる。
		事後学習	家庭支援、子育て支援の具体的な内容を理解し、それを説明できるようにする。
第8回	社会福祉の制度と実施体系① 社会福祉の制度と法体系 社会福祉行財政と実施機関	事前学習	子ども家庭福祉に関する法制度を一つだけ調べてレポートにまとめておく。
		事後学習	児童福祉6法の概略を理解し、その説明ができるようにする。
第9回	社会福祉の制度と実施体系② 社会福祉施設 社会福祉の専門職 社会保障および関連制度	事前学習	児童福祉に関する福祉施設の支援目的、対象、具体的支援内容を一つだけ調べてくる。
		事後学習	児童福祉に関する福祉施設の概略を理解し、そこに従事する福祉に関する専門士について説明ができるようにする。
第10回	社会福祉における相談援助① 相談援助の概要 相談援助の具体的展開 事例分析(1)	事前学習	バイスティックの7原則について調べておく。
		事後学習	事例から学んだことを踏まえ、保育士として必要な支援に関する要素を説明できるようにする。
第11回	社会福祉における相談援助② 相談援助の概要 相談援助の具体的展開 事例分析(2)	事前学習	保育士が連携する社会福祉従事者の有する資格を一つだけ調べておく。
		事後学習	保育士が子どもの支援を行う際、どのような社会資源、特に社会福祉に携わる資格を有している人と連携をとるのかを理解し、説明できるようにする。
第12回	社会福祉における相談援助③ 相談援助の概要 相談援助の具体的展開 事例分析(3)	事前学習	児童虐待に関する知識をまとめておく。
		事後学習	虐待を受けた児童に関する具体的な対応方法を理解し、説明が出来るようにする。
第13回	社会福祉における利用者の保護に関わる仕組み 情報提供と第三者評価 利用者の権利擁護と苦情解決	事前学習	利用者の権利擁護に関する制度を調べておく。
		事後学習	保育においてなぜ利用者の権利擁護が必要なのかを理解し、それを説明できるようにする。
第14回	社会福祉の動向と課題	事前学習	今後の保育分野での社会問題を調べておく。
		事後学習	今後の保育分野で求められる社会福祉領域での対応策を理解し、その解決方法を自分の考えを踏まえて説明できるようにする。
第15回	これまでのまとめ 保育士として社会福祉で学んだことをどう活かすのか	事前学習	保育士として必要な授業を通じて学んだ社会福祉に関する知識をまとめておく。
		事後学習	理想の保育士像に必要な社会福祉の知識を实践でどのように活かすのかということを説明できるようにする。
<p>期末試験</p> <p>内容については、15回の授業で行った内容から記述形式で問題を作成する。</p> <p>資料の持ち込みに関しては、授業で使用したコマシラバスと配布資料に関しては可。</p>			